

歯科衛生士ラダー

レベル		I	II	III	IV	V
定義		専門職として自覚を持ち必要に応じて助言を得て業務を実践する	専門職の役割を理解し自立して業務を実践する	専門性を活かし対象者の個性を考慮して業務を実践する	幅広い視野で予測的判断のもと業務を実践する	より複雑な状況下において業務を実践する
歯科衛生実践能力	レベル毎の目標	基本的な知識のもと必要に応じて助言を受け口腔の健康を管理する	自立して口腔の健康を管理する	対象者の個性を考慮して口腔の健康を管理する	幅広い視野で予測的判断のもと口腔の健康を管理する	複雑な状況下で最適な口腔の健康を管理する
	行動目標	歯・口腔の疾患を予防するため基本的な知識と手順を理解し、必要時に応じて助言を得て「フッ化物塗布」「機械的歯面清掃」等をおこなうことができる	口腔の状態に応じて適切な器具・方法を用いて、自立して「フッ化物歯面塗布」「機械的歯面清掃」等をおこなうことができる	口腔および全身状態の情報を把握し、対象者の歯科疾患の予防につながるための処置ができる	口腔および全身状態の情報をもとに対象者の起こりうる歯科疾患を予測し、安全に歯科予防処置ができる	口腔および全身状態の情報をもとに、生活を支えるため、起こりうる歯科疾患を予測し、安全で適切な歯科予防処置ができる
		基本的な手順に従い、必要に応じて助言を得て歯科医師の診療を補助することができる	歯科医師の診療を補助するとともに、歯科医師の指示を受けて自立して歯科治療の一部を担当することができる	対象者の口腔および全身状態の情報を把握したうえで、歯科医師の診療を補助するとともに、歯科医師の指示を受けて歯科治療の一部を担当することができる	対象者の口腔および全身状態の情報を把握したうえで、起こりうるリスクを予測し、歯科医師の診療を補助および歯科医師の指示を受けて歯科治療の一部を担当することができる	対象者の口腔および全身状態の情報を把握したうえで、起こりうるリスクを予測し、より複雑な状況下において歯科医師の診療を補助および歯科医師の指示を受けて歯科治療の一部を担当することができる
		歯科保健指導に関する基本的な手順に従い、必要に応じて助言を得て、歯磨き指導を中心とした歯口清掃法の指導をおこなうことができる	自立して歯磨き指導を中心とした歯口清掃法の指導を行い、セルフケアの支援ができる	対象者の個性を考慮して、正しい生活習慣やセルフケアを実行するための専門的な支援（指導）をおこなうことができる	幅広い視野で予測的判断のもと口腔の健康を管理するため、正しい生活習慣やセルフケアを実行するための専門的な支援（指導）をおこなうことができる	複雑な状況下で最適な口腔の健康を管理するため、正しい生活習慣やセルフケアを実行するための専門的な支援（指導）をおこなうことができる
組織的役割の遂行	レベル毎の目標	組織の一員としての役割を理解する	組織の一員としての役割を果たす	歯科衛生能力を活かして組織的役割を遂行する	多職種と連携して組織的役割を遂行する	組織の中で管理的役割を担う
	行動目標	チームの一員として活動に参加できる	チームの一員として活動に参加し、メンバーシップを発揮できる	チームの一員として活動に参加し、歯科衛生士の専門性を発揮できる	チームにおいて歯科衛生士の専門性を発揮し、多職種と連携ができる	チームにおいて管理的役割を担い、歯科衛生士の専門性を発揮し、多職種と連携ができる
		医療安全・感染予防対策に関する基本的な知識を有し、必要時に助言を得ながら上司に報告・連絡・相談ができる	基本的な知識を有し、医療安全・感染予防対策ができる	口腔および全身状態の情報を把握し、医療安全・感染予防対策ができる	口腔および全身状態の情報をもとに起こりうるリスクを予測し、医療安全・感染予防対策ができる	多角的視点で冷静な判断のもと、関連部署と連携し、医療安全・感染予防対策ができる
教育・研究	レベル毎の目標	自己の歯科衛生士としての課題を見出す	自己課題に主体的に取り組む	自己のキャリアプランを考え、自己課題に主体的に取り組む	自己のキャリア発達に取り組み役割モデルとなる	様々な活動を通じて、歯科衛生士の質の向上に貢献する
	行動目標	助言を得ながら必要な研修会・学会に参加することができる	自身に必要な研修会・学会に参加し、その内容を基に指導することができる	自身の専門性に関連した研究発表や院内外での講演等を行うことができる	研究テーマを見出し、リーダーとして研究発表を行うことができる	研究発表者に、指導や援助をおこなうことができる